

「ASTONE通信」



第150号
2020年9月21日発行

担当：小東 康人

葬儀の小規模化

近年、新型コロナウイルスをきっかけに、オンラインで使える終活サービスが多様化してきております。

無料通話アプリLINEを使った葬儀の手法、延命治療の有無、遺産相続などの遺言書が作成できる「タイムカプセル」や「遺影バンク」など、コロナ渦により葬儀や弔いの場のIT化（感染を防ぐため葬儀の様子をオンライン中継する、訃報をSNSで伝え香典をオンライン決済するなど。）の流れが街を中心にどんどん加速しつつあります。

以前から広がりつつあった「宗教離れ、寺離れ、檀家離れ」は、昨今の新型コロナが原因で更なる宗教行事の簡略化やそれらを不要とする意識を作り上げており、その流れは加速するばかりです。

お墓のゆくえも大きく変化する過渡期であり、近年増加傾向にある納骨堂や供養塔をはじめ、場所によっては村の人口単位で村にある一つのお墓に村人全員が入るといふ地域もあり、今後もお墓に対する考え方は目まぐるしい変革が訪れることが予想されます。



Zoomにてセミナー受講

先月（8月22日）社内研修の一環として、今話題のZoomを利用して会社にてセミナーを受講しました。

セミナーのタイトルは「健診を受けた後に ～健診結果の見方と生活習慣病～」

耳が痛くなるようなテーマです・・・(>_<)

ただ、昨年は社外の方にも何名か来ていただきセミナーを実施したのですが、今年はコロナの関係もあり社内だけで行う事にし、又こういう時なので講師の方にもオンラインでのセミナーをお願いしました。

初めての「Zoom」を利用したオンラインセミナーで、当日は会議室に集まり各自のノートPCの画面を見ながらのセミナー受講でしたが、やはり慣れないせいもあってか普通の対面形式のセミナーに比べると少しぎこちない感じはしました。

しかしお互いの「移動時間」「場所」「コスト」などを考えると今後このZoomも使い方によっては何かと業務の効率化ができるのではないかと思います。

これからも時代に取り遅れないよう新しい事にも挑戦していこうと思っています。

（ひろと）

＊「今月の名言」・・・早起きの家庭は活気が満ち、夜更かしの家庭は乱れが生じる！

朝倉商事株式会社

